

「こちら」

Kotsubo JK

小坪小学校区住民自治協議会




Vol. 4  
秋の愉しみ号

影法師が長くなる時分を過ぎると  
秋の小坪はまた格別の趣き。  
夕暮れ富士山、江ノ島の灯火。  
虫の声に耳を澄ませて  
名月と涼風を愛でるもよし。  
南が丘や亀団じゃTrick or treat?  
ハロウィーンほほほ恒例行事。  
それぞれしみじみ愉しむ夜長です。



## WHAT'S NEW? 小坪住民協の活動を担当別にお知らせします

- ふれあい部会** 「ふれあい広場こつぼ」を地域ふれあいの発信スポットとしてご活用ください。
- 防犯部会** 猛暑のため道で動けなくなった高齢者に青パトが気づき、家族の許へお送りしました。
- 防災部会** 「逃げ地図セミナー」を9/24(土)開催します。詳細は右のQRコードから ➡ 
- 環境美化部会** 意識向上が切実に求められるごみ問題。裏面記事をぜひお読みください。
- 地域活性化部会** こんな地域イベントあったらいいな、というご意見を募集中です。
- 広報担当** 来春「こちら Kotsubo JK」写真展開催決定。出展作品を募集します。詳細は下欄に。

## 写真展に参加しませんか？ 小坪の写真を強化募集しています！

小坪住民協では、小坪の魅力を広くご紹介する写真展を開催することになりました。出展作品は「こちらKotsubo JK」創刊号～第6号に投稿された全写真を対象に選考します。そこで、2023年2月15日まで、投稿作品を強化大募集します。撮影場所が小坪であれば、どなたでも、世界中どこからでも投稿していただけます(本紙掲載の際に、正方形にトリミングさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください)。傑作たくさんお待ちしています。投稿の方法は簡単。メールに氏名、連絡先、写真データを添付して送信してください。メールの宛先はkotsubojk@gmail.com  
【今号の投稿写真】(上段中から時計回りに)T.Kojima, ANIELCHI, N.Ichyanagi, ANIELCHI, N,Kono どうもありがとうございました！

## REPORT

### 小坪からウクライナへ、心よ、届け！



(写真上)イリナ書記官と阿部会長。募金箱設置にご協力いただいた下記各所に心より感謝申し上げます■小坪コミセン、小坪郵便局、披露山庭園住宅管理事務所、太陽舎、八百喜支店、ファミリーマート、ゆうき食堂、根岸商店、萩原肉店、めしやちゃん、魚佐治、逗子マリーナ内レストラン各所、大谷戸会館、亀ヶ岡自治会館(敬称略・順不同)

小坪住民協ウクライナ人道支援募金は92,667円の最終額で終了しました。この募金と小坪住民からの励ましのメッセージを携え、8月10日、阿部会長と吉田事務局長が、在日ウクライナ大使館へ届けました。

対応したインナ・イリナ書記官からは「心から感謝します。情勢は依然として厳しいが、一致団結して平和を取り戻したい」と力強い謝辞がありました。

小坪の心がウクライナへと飛び立ちました。ご協力ほんとうにありがとうございました。

## CLOSEUP

### ごみ問題は今、すべての人の重要課題です

生ごみの資源化や、隣接する自治体連携による効率化等を目指し、市では、新しい分別収集等の実施が3年後に予定されています。ごみ処理は、どんな人にとっても、日常生活に深く関わる問題ですね。地球全体で環境への意識向上が求められている今、地域活動でもまさに要。根幹では、ごみ減量へ意識を切り替えること。日々の作業としては、分別のルールを守ることがとても大切です。

私事ですが、仕事で33年間、転々とし7年前に小坪に戻りました。伝統・自然・文化度の調和がとれた住みやすい町だと改めて感じます。その小坪を、さらに住みやすく。この機会に、今日的な環境美化に向け、地域間や行政との橋渡しとなれるよう、環境美化部会活動に力を尽くしたいと考えています。



松本信也  
環境美化部会長



Kotsubo no Tsubo

押さえておくと小坪暮らしがぐっと豊かになる場所や人、シリーズでご紹介します

### コッポノツポ 子ども×動物×高齢者でハッピー、ANIELCHIの小坪満喫主義！

亀ヶ岡団地の普通の一角、「あにえるち保育室」と「でいさーびすアニエルチ」が入る一軒家。0～2歳児と高齢者と犬のハナちゃん(写真は第1面に)が、同じ時間と空間をシェアしています。みんな、何て自然体。肌になじむ普段着のような雰囲気とでもいいですか。

運営する特定非営利活動法人ANIELCHIの大谷佳弘さん、美菜子さんご夫妻は、そもそも小坪小学校の同級生。大きくなってそれぞれ介護と保育の職に就き、8年前、各々の専門を融合させて起業しました。発想に元から動物が加わっていたのは、佳弘さんが常に犬と一緒に環境で育ったから。自然の流れに乗って始動した新機軸は、その後、時の神様が味方してくれたみたいに、とんとん拍子。実家をリフォームした施設が手狭に感じられた頃、たまたま近所によい場所が見つかり、第2あにえるち保育園を開設。次に「3歳以降の子ども達とも一緒に過ごしたいな」という思いが強くなった頃、絶妙のタイミングで徒歩数分の所にぴったりの建物が。そして来春「みんなのあにえるち幼稚園」開園の運びとなりました。これまで通り、動物、子ども、高齢者、みんなで四季を大切に、「小坪満喫保育園にしたいなあ」。



「あにえるち」とはアニマル・エルダリー(高齢者)・チルドレンのかけ合わせ。(写真上)子ども達はデイ利用者さんの名前を覚えて「〇〇さーん」とかわいく呼んでいます。(左)大谷夫妻は2人の子育て真っ最中。見学、園児募集情報など詳細は右のQRコードから。



〒0467-25-1505



## 小坪住民協の最新情報はWEBサイトでも。次号は11月発行予定！

問い合わせ先 ☎090-9373-4942 ✉kotsubojk@gmail.com WEBサイトは右のQRコードから  
p2 logo design/T+S Goto photo/ S.Yoshida, K.Ukita, Photo Life Nagakoshi, ANIELCHI editor/K.Ukita

こちら Kotsubo JK 第4号 2022年9月1日発行(隔月刊) 編集&発行・小坪小学校区住民自治協議会(小坪住民協 神奈川県逗子市小坪5-21-17 小坪小学校区コミュニティセンター内) 記事、写真、イラストの無断転載・複写・デジタル化等を禁じます ©小坪住民協 2022

